

神樹の会会報

No. 3

本部事務所：神戸市灘区備後町3丁目2番22号

昭和59年3月1日

六甲作業所内 TEL(078)821-1533

(事業所)

六甲作業所及び東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533

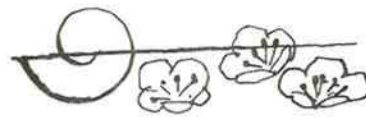
垂水作業所及び西部生活訓練所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675

福祉の店「いたやど」
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

神戸市立友生並びに垂水養護学校に於いては、三月一日(水)午前十時から多数の来賓、父兄、在校生に囲まれて高等部の卒業証書授与式が行なわれた。本年度卒業したものは次の通りです。(内は進路先)

ご卒業おめでとう！

両校で13名 高等部を巣立つ



- 友生養護学校
- 大川 裕 (六甲作業所)
 - 衣笠 誠 (六甲作業所)
 - 鎌田 充弘 (東部生活訓練所)
- 垂水養護学校
- 大西 一人 (垂水生活訓練所)
 - 河野 実 (垂水生活訓練所)
 - 中島 康宏 (垂水生活訓練所)
 - 福森 博志 (垂水生活訓練所)
 - 伊東 実樹 (玉津能力開発課)
 - 本多 光子 (垂水生活訓練所)
 - 古崎 典子 (垂水生活訓練所)
 - 中杉 仁美 (垂水生活訓練所)
 - 浜田 晴美 (垂水生活訓練所)
 - 山本亜佐子 (垂水生活訓練所)

本年度は特に障害が重い人が多いので、殆どが六甲作業所・東部生活訓練所・垂水生活訓練所か又は作業所に入所する予定です。

それぞれ障害は重くとも未知の社会に乗り出すことになりました。送り出す先生方にとってもここまでの養育されたご両親にとっても感慨の深いものがあるうかと存じます。前途のご多幸をお祈り申し上げます。

神樹の会活動レポート ーその2ー

垂水作業所

1 垂水作業所の設立

垂水作業所は神戸市西部障害者の授産施設として昭和五十三年十二月に神戸市垂水区星陵台四丁目四の四十五に着工、昭和五十四年七月に竣工、運営が開始されました。

垂水作業所が運営されて五年になります。年々ともな重度障害者が増加し、一日(終日)仕事が出来る者が少なくなってきたという現状です。作業所では作業能力を高めることも大切であると考えておりますが、それだけでなく「学校を卒業した後も、生きがいをもって生活できる家をつくらう」という当初の目的にも努力をしております。週二回、半日をクラブ活動(現在、生活訓練部と)とし、軽音楽・読書会・その他などを行ない、楽しい憩いの場となるよう配慮し、仕事の活動源としております。また、その成果を七夕の集いやクリスマス会などで発表しています。

来年度 市予算決まる！

私たちが何回かにわたり神戸市に陳情・要請を繰り返しました。昭和五十九年度の予算が二月二十一日付の新聞紙上に発表されました。

概要は次の通りです

- 1 六甲作業所 補助 二百四十五万円
- 2 垂水作業所 補助 二百四十五万円
- 3 重度重複障害者生活指導 補助 三百八十万円

(新規予算の執行についてはあらためて説明会か詳細な指示があると思われるが、昨年度の重度重複障害者への生活訓練部の活動が認められた結果である)



垂水作業所での作業風景

2 施設の規模

- ア 敷地面積 一八二〇、四〇 平方メートル
- イ 構造 鉄筋コンクリート造 平屋建
- ウ 延床面積 四五九、六七五 平方メートル

3 通所者の状況

- A 障害種別
 - 肢体不自由・・・十六人
 - 一級・・・十五人
 - 二級・・・二人
 - アイゼンメンゲル症候群・・・一人
 - 三級・・・一人
 - 進行性筋萎縮・・・一人
 - 六級・・・一人
- B 障害級別
 - 一級・・・十六人
 - 二級・・・二人
 - 三級・・・一人
 - 六級・・・一人
- C 通所方法
 - 私鉄市バス・・・一人
 - 徒歩・・・四人
 - 自家用車・・・四人
 - バス送迎・・・十人

D 年齢別

- 十九～二十四才・・・十五人
- 二五～二十九才・・・三人
- 三〇～三五才・・・一人

4 作業内容

- ・ 輪ゴム計り・袋及び箱詰め
- ・ 真珠台作り
- ・ 手芸糸・箱折り及び箱詰め
- ・ その他

5 垂水作業所にて

K・I

緑の木々に囲まれた静かな作業所で、作業を始めてからもう五年になります。当初は小人数でしたが、今は大家族になり賑やかになりました。仕事のつらい日はありませんが、これでいいのかと毎日反省しております。でも私は一日一日が元気で、作業所の友達もみんな仲よくして、助けあって行けばと思います。歩くこともできない私は、父母の足と手を借りなければ仕事に行けないので、将来は作業所に宿泊出来るようになればと、勝手なことを考えています。みんなが努力して楽しい作業所でありたいと思っています。

あれこれと考えてみても自分一人ではやりきれない私です。両親の世話になるのが年々つらくなります。大切なことを元気でいられることです。みんなと話し合いの日を作り、楽しい作業所が出来たらと思います。

6 寒さも吹きとばす熱気 作業員 岩田 信也

近年にない厳しい寒波の中、作業員の皆さんの頑張る姿に熱気を感じます。息子もその熱気にやっとなりついてきました。毎日楽しく通所させていたできております。一昨年の夏、親子で見学させていただきました。時は就職に失敗し、自分の無能力を恥じて人に逢うことも出来ないほど沈みこんでいました。が、作業員のみなさんとお母様方の励ましにより、半年一年と過ぎ、昨年の夏頃からはほとんど休まずに通える明るい息子になりました。

畑違いの精進者を何のこだわりもなく仲間としてむかえ入れて下さいました。皆様に心から感謝し、神樹の会の一葉なりとも報いることができると願っています。どうかよろしくお願ひ申し上げます。(母 晴子記)

感謝！ 垂水養護学校 P

垂水養護学校 P T A は、本年ははじめ市内における小、中学校 P T A の中で、特に地域社会と密接な関係をもって顕著な活動をしたとして神戸市長より感謝状が授与された。また、同校の P T A 発行の旭陵通信が県下小、中学校新聞コンクールの広報の部で佳作賞を受賞した。この重なる受賞で同校 P は大感激！これからもこの名誉に恥じない活動をと誓っています。